

事業所見学

日時：令和7年10月2日

9:30～10:30

見学目的：事業所の取り組みを知る。事業所との連携を深める。

- ・多機能事業所（児発・放デイ合わせて定員10名）
- ・午前中は児発メイン、この日の利用児は6名
- ・「自立」を目的とした構造化を取り入れた支援を実施している
- ・1部屋を6つのエリアに分けて構造化
- ・①トランジションエリア(絵カードや具体物のスケジュール)で1人1人のスケジュールを呈示する。利用児は、活動の切り替えごとに①に戻り、次のエリアへ移動する。
- ・②学びのエリアではその子に合わせた個別の課題を大人と1対1で行う。
- ・③自由あそびのエリアでは大人と一緒に好きな遊びを楽しみながらやりとりを行う。
- ・④個別学習のエリアでは、自分がやりたい活動を選び行う。大人は見守り。困った時には子どもから発信する機会がある。
- ・⑤絵カードなど自分から要求する手段を用いて大人に伝える機会を作る。お菓子は1つ、ジュースは少量を数回に分けてあげていく。
- ・⑥JT・小集団で集団の流れをつくりながら、他児と関わる機会を作る。活動は1つ。15分程度の実施。
- ・活動1つ1つの切り替えは、子どもの顔写真をスタッフが手渡して区切りを呈示する。受け取った子どもは①のエリアに戻って次の活動に参加する。
- ・園や家庭でのニーズを取り入れて支援内容を考え、繰り返し行うことで「出来るようになる」本人が慣れるまで再構造化を繰り返していく
- ・構造化されていることで子ども1人1人が切り替えながら自発的に動ける機会が増える

